

蔵出しお宝ニュース

— 創刊号 —

三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と、行事の案内・紹介などを随時行って参りたいと思っております。

小早川隆景像・末近信賀像の複製を展示

本年度より資料館1階ロビーに置床を設け、広島藩年寄職・^{さわさんせき}沢三石の絵や、^{いしてじ}石手寺住職の短冊などを掛けていましたが、5月下旬より^{こはやかわたかかげ}小早川隆景像と^{せちか(すえちか)のぶよし}末近信賀像の掛軸を展示しています。

隆景像は昭和60年(1985)、福岡市の名島城築城400年祭にあわせて描かれたもので、画は^{せらふぼく}世良不墨氏の筆です。賛は米山寺所蔵の国重文・絹本著色小早川隆景像と同じ内容を、京都大徳寺の塔頭・^{おうぼいん}黄梅院の^{こばやしだいげん}小林太玄住職によって書かれたものです。



末近信賀は小早川隆景の家臣で、久井羽倉城主でした。羽柴秀吉による備中高松城水攻めの際、隆景の軍監として城内にいましたが、本能寺の変が起こり、織田信長が死去。秀吉は明智光秀を討つため、備中高松城主・清水宗治の命を条件に城兵を助命する講和を呼びかけました。これに応じた宗治とともに、天正10年(1582)6月4日に自刃したのが末近信賀です。今年に没後430年で、先日久井町でも法要が営まれました。

末近信賀像は昭和57年(1982)に描かれたもので、隆景像と同じく世良不墨氏による画賛です。ロビー置床には、今後も季節の掛軸や花入・花を飾りたいと思っております。お楽しみに！



(左) 小早川隆景像
(右) 末近信賀像

末近信賀 辞世

君がため 名を高松に とめおきて
心は^{かえ}返る 古郷の方

三原やっさの最古レコード見つかる

このほど、収蔵庫のレコードをまとめた棚から、最古と思われる三原やっさのレコードや、三原みやげのやっさ人形が発見されました。レコードは昭和29年(1954)11月にコロムビアから発売されたもので、タイトルは「民謡 ヤッサ踊」です。全国版ということもあり、紅白出場歌手の久保幸江・若山彰くぼゆきえ わかやまあきらが唄っています。民謡というよりは、歌謡曲風に幾分編曲されているところがおもしろいです。特に若山彰は三原出身で、「喜びも悲しみも幾年月」の大ヒットで有名です。裏面は、三原の師匠たちによる正調の「民謡 ヤッサ踊」が収録されています。現在の三原やっさ踊り唄と比べ、テンポが少し緩やかで、楽器も三味線・鼓・締太鼓のみを用いているようです。

視聴希望の方は、資料館までお運びください。



(左)「民謡 ヤッサ踊」のレコードと蓄音機
(右) やっさ人形

館内は資料の宝庫

収蔵庫には、かつて三原市内外より寄贈を受けた貴重な資料であふれています。冒頭でも述べました通り、三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。現在、収蔵庫内とロビー置床裏で、職員によって収蔵庫内の資料の手入れ・台帳整理を行っています。見学者の皆様にはお見苦しいところもあると思いますが、今後の資料管理のため、何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。



(左) 貴重な生活資料の山
(右) 専門職員による資料の手入れと整理の様子

発行 平成24(2012)年 6月18日
〒723-0015 三原市円一町2丁目3-2
(三原市立中央図書館 北隣)
TEL 0848-62-5595
三原市歴史民俗資料館 山崎愛一郎 編集